

【参加者感想】(一部抜粋)

大貝 優乃香(福岡県立八幡中央高等学校)

今回のフランス研修旅行は、多くの新しい経験をする事ができました。

私は海外に行ったのは今回がはじめてでした。まず、一番に驚いたのは街並みが日本とはまったく違うことでした。パリなどはとくに条例できれいな街並みを保存していると聞いて、日本との違いを感じました。他にも食事やチップなどところどころで日本との違いを感じましたが、一番強く感じたのは飲料水に関してです。パリで2リットルペットボトルの水を飲む人を見つけたときは面白かったです。

美術館見学はとても勉強になりましたが、ルーブルなど大きい美術館こそ自由に見てまわれるようにしてほしいかったです。ガイドさんのお話も面白かったのですが、知っている部分も多く、何より見たい絵画が見られなかったので少し残念でした。

オンフルールで描いたほかの参加者さんのスケッチをもっとじっくり見たかったです。今回はとても勉強になりました。改めてご指導して下さった先生方、ほんとうにありがとうございました。

内山 礼華(前橋市立前橋高等学校)

この度「高校生絵のまち尾道四季展」での尾道賞の受賞、フランス研修旅行ができたことをとてもうれしく思っています。本当にありがとうございました。

初めて海外に行ったので、周りのものが全て新鮮に感じ、刺激になりました。特に、美術館に行けたことが良かったです。ブーダン美術館、ルーブル美術館、オランジュリー美術館、オルセー美術館、どの美術館もすごかったです。教科書やテレビで見た絵画や彫刻が実際に見れたことはとても大きな経験になりました。ルーブル美術館やオルセー美術館は本当に広く、今回だけでは見きれなかったもので、また行きたいと思いました。

オンフルールやパリの街並みも日本とはまた違い、おしゃれで長い歴史があり、見ていてとてもおもしろかったです。一番おもしろいと感じたのが街にあるお店のショーウィンドウです。見やすく、置き方や色あいが考えられてあり、きれいだと思います。

海外にはあまり興味がなかったのですが、今回の旅行で日本との違い、その国の文化・歴史にふれることはとてもおもしろく、勉強になることがわかりました。



オンフルール市表敬訪問

森口 夏帆（広島県立安古市高等学校）

先日のフランス研修旅行は、初めての体験ばかりでとても充実していました。パリの有名な名所はもちろん、普通のスーパーマーケットで買い物ができたこと、オンフルールのどかな港でスケッチをできたことが特に印象的でした。

旅行日数も調度良く、楽しい旅行でしたが、思っていたより大人の方がおられたので、少し肩身が狭い時もありました。また、食文化が違うため仕方がないですが、食事は味が濃い物が多かったとも感じました。

しかし、もう一回行きたいと思えるので、良い4泊6日でした。

ありがとうございました。

草加 明良（岡山県立岡山操山高等学校）

4泊6日の旅行はあっという間でした。家に帰り、布団で寝て、朝を迎えると、昨日までのことが夢のように現実味がありませんでした。それでも、机の上に置かれているお土産などを見ると、やっぱり行ってきたんだな、と実感しました。

フランスには、油絵を描き始めた中学校の頃から憧れていました。その夢がこんなに早く叶うとは思っていませんでした。本で見たことのある作品ばかりが並ぶ、オルセー、ルーブル、オランジュリーに行って感じたのは、本物は写真とは全然違うということです。マネの「笛を吹く少年」を見たときに特に感じました。本で見たときは、何も感じず、すぐにページを捲っていました。しかし、いざ目の前に絵が現れると、こんなにすごい絵だったのかとびっくりしました。どこがどうということは説明できませんが、とにかく良い絵でした。マネについてももう少し勉強しようと思います。

フランス人とコミュニケーションがちゃんととれるのか心配していましたが、なんとかなるものだと思います。フランス語や英語が喋れなくても、こちらが伝えようという気持ちで全面に出せば、相手も理解しようとしてくれたので、あまり困ることはありませんでした。自分の中で旅行での目標の一つ、現地の人に写真を撮らせてもらう、というのでも達成できました。パリのホテルの黒人のウェイターさんに撮らせてもらいました。自分の思っていることが相手に伝わるのがこんなにうれしいとは思いませんでした。

最後に、この旅行に関わった人たちに感謝しています。楽しい旅行になったのも様々な人のおかげだと思っています。ありがとうございました。



オンフルール港

家入 瑞穂（広島県立尾道北高等学校）

この度はフランス研修旅行というとても貴重な体験ができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

日頃から芸術を嗜む国の文化や風景に実際に触れ、楽しみ、多くのことを学ぶことができた4日間でした。オンフルールの2日間は、陽気な街の雰囲気と気持ちが落ち着くような美しい景色が、私をこの町の住人であるかのような気持ちにさせてくれました。

今回の研修旅行のメインとなる美術館訪問では、私の絵に対する考え方が変わるような絵が多くありました。自分だけの表現技法で作品を描く画家ばかりで、特に印象に残っているのはモネの表現技法です。色を混ぜずに、というのは、とても興味深かったです。



オンフルール市内スケッチ

一度に多くの芸術に触れることのできる機会は、大人になるとあまりないのではないかと思います。今回の経験を生かして、自分でもいろいろな表現技法に挑戦していき、自分なりの描き方を見つけたいです。そのようにして、もっと芸術に対する関心を深めていきたいです。

岡野 愛（広島県立因島高等学校）

このたびは、フランス研修旅行に招待していただきありがとうございました。

今回の旅行は私にとって初めての海外旅行でした。

小さい頃からフランスに行くのが夢だったので、今回の研修旅行で夢が叶ってよかったです。

最初に行ったオンフルールでは、とても美しい港が印象的でした。

尾道市代表として、尾道市と姉妹都市であるオンフルール市の市長さんにお会いできて本当によかったです。スケッチをしている時に、オンフルールの人達が話しかけてくれたり、あいさつしてくれたりするなど、とても人があたたかい所だなあと感じました。尾道と同じですね！

次に行ったパリでは、まさに“芸術の都”といった感じで、建物も街もすべてがすばらしかったです。モンマルトルのテルトル広場では、たくさんの絵描きさんが絵を描いていて、見ているだけでも勉強になりました。

この旅行で一番良かったと思う所は美術館めぐりです。どの美術館も一日中そこにいたいくらい素敵でした。中でもルーブル美術館は教科書でしか見たことのないような作品を実際に見ることができ、印刷ではわからないような筆のタッチや細かい色づかいを見ることができたのでよかったです。

私は将来、美術系の大学で、デザインを勉強したいと思っています。日本とはまた違った

フランスの”デザイン”や文化に触れることができ私にとってとてもプラスになった旅行でした。

ボス 美妃（屋久島おおぞら高等学校）

この度は、高校生絵のまち尾道四季展より尾道賞を頂き、温かいお言葉と様々な贈物やフランス研修旅行に参加させて下さり、厚くお礼申し上げます。

私にとって、全国から集まった絵を描く仲間と、絵に関する旅をした事はとても貴重な体験であり、一生の思い出となりました。そして良い意味で人生の価値観が変わり、前よりもっと絵に興味を持つことが出来ました。

元々私は、美術館にたまに足を運ぶものの、自分で絵を描いたりする事はなく、せいぜい落書き程度のものしか描いた事はありませんでした。昨年、嫌な出来事が立て続きに起こり落ち込んでいた時に、画家のゴヤさんの作品を見て、感動し、とても勇気付けられました。そして下地をオレンジ色にしていた事がどうしても気になり、真似をしてみたくなりました。偶然が重なったのか、公募ガイドでこのコンクールを知り、初めて油絵具に触れました。使い方が全く分からなかったのも、世界堂の一日体験授業に参加し、図書館で本を参考にしながら、初めて自分で描いた絵を出品することになりました。誰が見ても素人の絵で、ゴヤさんのように描けませんでした。絵を創作している間はとても楽しくて、毎日がチャレンジでした。色んな発見があったので、精神的



美術鑑賞

にも幸せになることが出来ました。最初は、テーマの尾道という場所が一体どんな所なのかも分からなかったのも、絵になるまちと言われるくらいだから、きっと自然があふれる緑の多い景色なんだろうと思っていました。ですが写真集などで調べたところ、思っていたような場所とは全く違い、路地や小道などがたくさん出てきて驚きました。しかし、こんな石で斜め返ってるような場所、見たことがない！と思ったと同時に、どこか懐かしいような、とても温かい印象を受けました。ここはあのオレンジ色の下地を使うしかない！と、気付いた時には筆を動かしていました。なので、尾道四季展から尾道賞の通知が来た時は、きっと私の思いが伝わったのではないかと、嬉しくなりました。

今まで不登校になったり、人と比べて少し変わった部分があるせいか、なかなか自分の意見が世間では受け入れてもらえなくて、いつしか自信が無くなり、無口になり、自分の世界へと閉じこもるようになっていました。しかしそれが、このコンクールをきっかけに行ったことのない国へ行ったり、実物の作品を見れた事によって、私の中の世界が確実に広がり、新しい自分を発見することが出来ました。多くの作品を見ているうちに、絵画や芸術を通して意思表示が出来るんだという事にも気付く事が出来ました。また、”見る”こ

とが大好きな私にとって、世界で最も有名な美術館を歩き回ったことは美術のテキストなどを見るより何倍もの価値があり、短い時間でもかなり勉強が出来たと自分では思っております。間近で見ないと分からない物や、同じ作品を見に来る人々の雰囲気を感じ取れた事は大きな収穫となりました。帰国後、すっかり調子を良くした私は、すぐさま画材屋へ行き、キャンバスを8枚も買ってしまいました。是非このようなコンクールをこれからも続けていって下さい。そしてまた新しい芸術家が増える事を心より願っています。

福田 由奈（広島県立熊野高等学校）

この度はフランス研修旅行という素晴らしく貴重な体験をさせていただきありがとうございました。美しいフランスという国に行くことはおろか日本国内から出ることすら初めてでした。長時間の飛行機での旅、そして様々な料理、絵になる風景、建物と見るのも実感するのも何もかもが新しく感動しました。オンフルールでは芸術をする誰もが愛したという旧港に目を奪われ、心に今も鮮やかに残っています。音楽家のサティの家では彼の生活していた時の様子を知られたうえにメリーゴーランドの様に回るもの、白いピアノが誰も弾いていないのに勝手に弾かれ、音が鳴るといふ楽しいものを見てうれしかったです。

パリの美術館と合わせ4つの美術館へ行きましたが、ルーブル美術館とオランジュリー美術館はもっとゆっくりと見てみたかったです。

ロダンの彫刻にミロのヴィーナス、ニケ、モナ・リザやナポレオン一世の戴冠式カナの婚宴、モネやマネの作品など多くのものをこの目で見れて何よりも大きい事や絵のタッチ、色使いすべてに感動しました。本などではこんなにも細かい部分を見ることはあまりできませんから実物を見れて本当によかったです。いつかまた友人や家族と共に見に行きたいです。高校生という歳でこのような体験をすることになるとはまったく思っていませんでした。美術好きがいっそう美術というものにひかれ更に美術好きになった様な気がします。ガイドさん、添乗員さん、そしてこの研修にいくきっかけを下された実行委員の皆様及び美術館長様、本当にありがとうございました。次回の尾道四季展で後輩に同じ体験をしていただきたいです。



オルセー美術館

亀井 謙弘（広島県立熊野高等学校）

このたびはパリ・オンフルール4泊6日の研修旅行の貴重な体験真にありがとうございました。

自分は美術部ということで美術に関する勉強を学んでいるということで、芸術の町パリでの研修旅行は非常にうれしかったです。

添乗員さんのこまかい案内や少しでも楽しめるために盛り上げて下さったりして、今回の研修旅行ではすごくお世話になりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

美術館のガイドさんのこまかい解説には胸をうたれました。

1つ1つの絵の作者の特徴やどのような絵を描いたり好んだかなどの解説はものすごく分かりやすかったです。本当に感動しました。

このたびパリ・オンフルール4泊6日の旅を計画して下さった尾道市のみなさん、中国トラベルさんのみなさん、そしてガイドさん方、本当に良い旅をすることができました。

4泊6日という短い期間でありましたけど、本当にお世話になりました。

安居 恵理（兵庫県立洲本実業高等学校）

今回、フランス研修旅行に参加させていただいて、いろいろなものを見て、感じ、本当に良い刺激になりました。この経験をいかし、今後の作品づくりがもっと充実したものになると思います。

私がフランスに行って、一番感動したのはノートルダム寺院です。ゴシック式の建築物、ステンドグラス、ミサ…西欧の寺院は日本とはまた違った神秘的なものをすごく感じました。それに、キリストについては全く分からないし、あまりそういうものを信じていないのですが、人の信仰でこんなに美しいものができるんだなんてすごいなとも思いました。

美術館も、教科書などでよく見るものが本物で見られたのでうれしかったです。それに新しく画家の名前や作品名などを知れたのもよかったです。私が美術館で特に強烈に覚えているのが、クールベの描いた「世界の起源」です。これは何年たっても忘れられないだろうと思うほど衝撃的でした。普段、住んでいるところの近くにこういった作品をみたりする美術館はないので、研修旅行で「世界の起源」や他の作品と出会えてよかったです。感



ルーブル美術館

無量です。

四泊六日は長いようで短い旅でした。パリとオンフルールの街並みやそこでフレンドリーに話しかけてくれた人、お世話になった人、仲良くなった友達…見たこと聞いたこと、この貴重な体験をずっと忘れないようにしたいと思います。本当にありがとうございました。

廣兼 萌（山口県立岩国高等学校）

私は先日参加させていただいたフランス研修旅行で日本にはない様々な文化や風景、そして美術品を目にしました。その中でも最も印象に残ったのはオランジュリー美術館で見

たモネの睡蓮の連作です。淡い色合いの線が重なるキャンバスは遠くから見ることでやっ
と一つの絵として認識できる不思議なものでした。見る人自身に色を（視覚的に）混ぜて
もらう技法を用いたモネの作品は、近づいて見たり、遠ざかって見たりを自分の身をもっ
て体感することが大切だと実感しました。その他にもルーブル美術館やオルセー美術館な
どもモナリザやミロのヴィーナスを含む数多くの有名な作品たちを実際に見ることが出
来て本当に良い経験をさせていただけたことに感謝しております。また、オンフルールや
パリの街中ではヨーロッパらしい、細く狭く隣接し合う家々が、でこぼことした趣のある
レンガ作りの道路、ゴシック様式の建物の並ぶ街並などを沢山見ることが出来、とても良
い刺激になりました。オンフルールの美しい港町の風景には、スケッチに留まらず、ちゃ
んと1枚の絵に描いてみたいという気持ちをかき立てられました。いつかまた行きたいと
思います。

この度は本当に貴重な機会をありがとうございました。進路は美術系ではありませんが
これからも絵を描き続けたいと思います。

中原 奈津美（山口県立岩国高等学校）

フランス研修旅行へ行かせていただき、フランス文化に触れられたことは、わたしの
人生の視野を広げる貴重な体験になりました。

フランスの人々や建築、料理はどれも目新しいものばかりで本当に感動しました。特に
オンフルールは、水面に映る建物や建築物など趣があり、大好きになりました。中でも、
人々がとても温かくて、言語が通じないわたしに朗らかに接してくださり、とても気持
ちがよくなりました。その他にも、フランスの方はよく外で日向ぼっこをしていたり、カフ
ェに入ると必ず外に座るなど、日本との違いがとてもおもしろかったです。

オランジュリー美術館でのモネの絵画は、強く印象に残りました。壁一面の巨大な睡蓮
の絵画は、見る位置によって朝や夜など、同じ場所でも違う時刻によって描きわけられ
ていておもしろいと感じたと同時に、モネが何を思って描いていたのか興味がわきました。
よく見たら全く花に見えないのに、離れて見ると花に見えている描き方は、とてもマネが
できないので感動しました。

まだまだ、思い出を語ると語り尽くせないほど素晴らしい時間をすごすことができました。
今回の旅行で、多くの方の協力のもと、6日間もの時間をフランスで過ごしてみて、
豊かなフランスの芸術文化はとても良い刺激になりました。機会はへりますが、これから
も絵を描き続けたいなと思いました。

朝日 綾菜（広島県立府中高等学校）

私は最初この旅行に参加するのが少し不安でした。
というのも初めての海外で、しかもほとんど初対面
の方と一緒に旅行だったからです。結局その不安は当



エッフェル塔

日まで引きずっていたわけですが、手際よい添乗員さんの説明やほかの参加者の方が優しく話しかけてくださったこともあってか、だんだんと打ちとけることができました。

この旅行で特別印象に残ったのは、何といてもオンフルールの街並みでした。オンフルール旧港の街並みはとても鮮やかで美しく、日本では決して見られない風景に感動しました。また、港の美しさだけでなく、建物や道路に至るまでカラフルで細やかな装飾がなされていたり、昔の建造物がそのまま残っていることなども趣を感じました。町で出会う現地の方々もとても優しく、こちらが日本人だと分かると英語か日本語で対応して下さる方が多かったのも印象に残っています。表敬訪問の際にはお聞きした「街並みも、人の心も美しい町にしたい」という市の目標が、市民に広く伝わっている結果なのだなと思いました。

日本から遠く離れたフランスの地で、私は本場の芸術作品と外国の気風や文化について学べたような気がします。もちろんまだまだ私には知らないことが多く、これからも見聞を広げていきたいと思っています。そして、今回このように貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、高校生のさらなる教育と完成を養うためにも「高校生絵のまち尾道四季展」を開催し続けていただきたいなと思います。

松村 恵里（広島県立廿日市高等学校）

- 知らせを受けたときのこと -

尾道賞をとったという知らせが家に届いたとき、驚きと喜びで狂っていた(笑)。

テスト期間中なのに勉強放り出してひたすら知らせの紙を読んだのを覚えている。

- 授賞式 -

緊張するかなと思ってたが、そこまですりでもなかった。人数が少なかったのと、会場が広すぎなかったおかげかもしれない。この日に友達つくれたらいいなって思ってたけど、結局誰とも話さなかった。1つの高校から2人きていたところ(岩国・熊野)の人が羨ましかった。少々フランス研修への不安もでてきたが、それでも楽しみのほうが大きかった。

- フランス研修旅行 -

* オンフルール

市長さんを表敬訪問したとき、市長さんの話を通訳してくださったのを通してきいた。ますます観光が楽しみになった。笑いもありのお話で、思わず笑顔になる、そういった話をしてくださった。市長さんはほんとうに良い人で緊張もほぐれた。

そのあと観光。テレビでみるような町並み。感動感動。ただスケッチタイムが苦痛だったが...(笑)。私は貼り絵は得意だが、絵のほうは苦手だ。デザインは好きだが、スケッチなどといったものは全くできない。皆1時間もしないうちに書き終えてて凄いなと思った。オンフルールでの自由時間、はじめての自由時間。十分な時間があり、異国の地に少しでも慣れたことはよかった。

あとから思ったことだが、オンフルールと比べてパリのほうが都会でがやがやしていた

ので、オンフルールの静かなほうで少しでも異国慣れておくことはとっても大切であった。

*パリ

いよいよパリ！

やはり美術館は見応えがあった。あまり絵のことは詳しくないが、有名な絵画や教科書にでてくるものがあったときの鳥肌は尋常じゃなかった。2時間じゃものたりないくらい。また次、パリへくる機会があればじっくりみよう。...機会があればの話だが(笑)。

市内は人人人!!!目がまわってしまう。

何より心に残ったのはエッフェル塔。あんなにきれいな場所で写真が撮れるなんて！友達ととりあい、いい思い出になった。

全体をとおして、充実した4泊6日になった。

この研修で自分の将来進む道の視野をひろげることができたし、刺激を受けてますます頑張ろうという気にもなった。

尾道市の方々をはじめ、旅行会社の方、引率で来てくださった先生、他にもたくさんの方々、本当にありがとうございました。

佐古 昭典（広島県立熊野高等学校・教諭）

このたびは熊野高校の生徒と教員、3名にフランス研修という貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。参加した生徒たちにとっては今回のフランス研修で学んだことは一生の宝となることでしょう。フランスという国は歴史に残る文化遺産を活用した観光で潤っている国だと思います。そのことはフランスのすべての人達が認識していることです。文化活動というものが国を豊かにし、人々の生活を幸せにするということを理解しています。日本にも多くの観光資源がありながら活用されていないところも多く見うけられます。日本の若者が海外の成功している都市に学ぶということは大切なことだと思います。尾道市も決して豊かではない財政の中から、こうして高校生をフランス研修というかたちで、海外に出かけるきっかけとなる経験をさせておられることは、たいへん素晴らしいことだと思います。今後、この研修旅行に対しては反対意見が出るとはありますが、是非続けてほしいと思います。広島県の高校も海外の高校と提携を結び積極的に留学を進めるようになりました。高校生くらいの年齢の若者たちがもっと世界に出て、いろんな物を見て、様々なことを考え、学ぶということはとても重要なことです。このことが将来、日本が豊かになって行くことだと思います。

今回の研修旅行を振り返っての感想ですが、もう少しパリを見たかったという感想です。パリでの見学時間は1日と半分しかありませんでした。オンフルールは1泊にして、パリに3泊し、ポンピドーセンターや、パリにある画廊、パリのファッション・インテリア・建築を見て回りたいと思いました。美術の教科書や画集で見た実物の名画を鑑賞することと、現在のフランスのアーティストが発表しているもの、できれば両方を見せてやりたいと思いました。有名な3つの美術館の見学では、ガイドさんがすばらしく、名画にまつわ

る様々な話を聞くことができ、多くの生徒は以前よりもっと美術作品が好きになったのではないのでしょうか。少し残念だったことは今の人たちがどのような生活をし、どのような作品を作っているか高校生に見せてあげられなかったことです。高校生にはわからないことも、何年かたてばすぐに理解でき、「高校生のときにポンピドーセンターに行きました」と話ができるようになると思います。見たこともないものに触れる、理解ができなくても新しい表現を知るということは、将来美術方面に進路を目指す人たちにはとても必要なことです。

過去のフランス研修旅行に参加した生徒のなかから将来、多方面において活躍する人材が出てくることを期待します。10代の後半で世界の美術品や建築物を見てきた人は、これからの人生の生き方がきっと変わってくると思います。

今回、生徒と共にとてもいい経験をさせていただきました。フランス研修に参加することにあたり、お世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。